

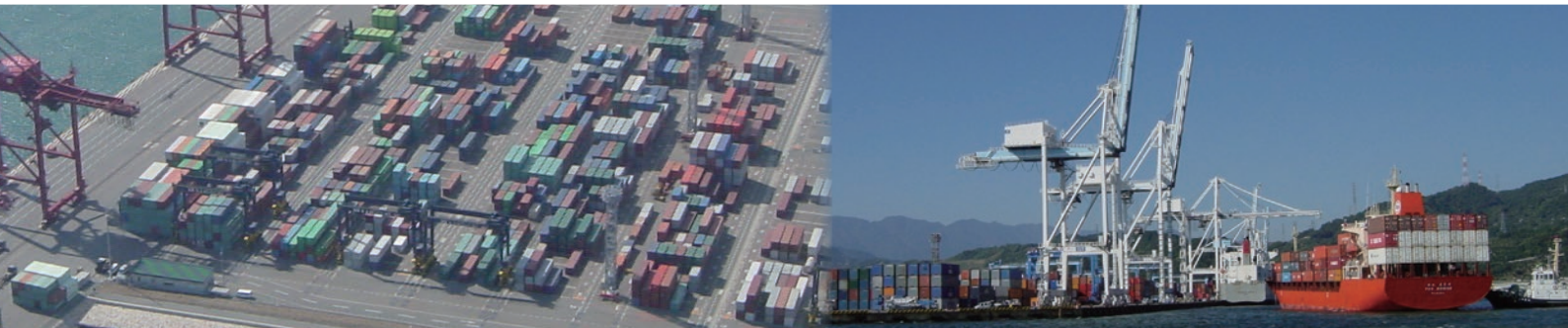
港湾物流高度化寄附講座



京都大学

設置期間 2020年7月1日～2023年6月30日

寄附者 一般財団法人港湾空港総合技術センター/一般財団法人沿岸技術研究センター/一般財団法人みなと総合研究財団

 「ICTの進展に対応したグローバルロジスティクス
及び港湾インフラ整備の高度化に関する研究」


教員 教授 山田 忠史 / 特任教授 小林 潔司 / 特定教授 宮島 正悟 / 産学共同講座教員 通山 絵美

客員教授 小野 憲司 / 客員教授 宮田 正史 / 客員准教授 飯田 純也 / 特命教授 河合 美宏 / 特命教授 渡部 富博

講義 ◎ サステナブルサプライチェーン ◎ グローバルロジスティクスー戦略と実務

研究テーマ

本寄附講座では、情報通信技術 (ICT) の進展を踏まえて、国内外の関係部局・関係機関などとも連携し、下記の研究を理論・実践の両面からバランスよく行っています。

- ① 貿易・ロジスティクスを取り巻く環境変化に対応した港湾物流システムの高度化に関する研究
- ② 自然災害等の発生に際しての港湾物流のリスクマネジメントに関する研究
- ③ 港湾インフラの整備サイクルにおける生産性向上に関する研究

背景・概要

アジア諸国の経済発展、国際的な産業構造の変化などによって、サプライチェーンのグローバル化が進み、多様な輸送ニーズへの対応が求められています。その中で、情報通信技術 (ICT) を活用し、港湾に関わる各種の手続き・情報などを電子化して連携を図る港湾関連データ連携基盤の構築、貨物の位置情報・輸送状況などを把握するトレーサビリティの確保、港湾荷役や背後輸送などでの自動化の導入などが急速に進行しており、このような環境の変化を見据えた港湾物流戦略についての研究が急務となっています。

また、企業の生産活動や国民生活を支えるグローバルロジスティクスにおいて、自然災害や事故などの発生に際しても機能継続を果たし、港湾・海運の物流機能の信頼性、安全性を確保し、社会活動への影響を最小限にとどめるよう、リスク管理が喫緊の課題となっています。

さらに、国際物流を支える港湾インフラに関して、大規模な更新期を迎える一方で少子高齢化に伴う労働力不足が懸念されており、導入が始まった CIM を活用した設計・施工や、急速に革新が進む点検診断技術の活用、インフラ情報の連携等、ICT の活用などによって設計・建設・維持管理などインフラ整備サイクルにおける高度化や大幅な効率化を図り、生産性を向上させることが極めて重要な課題です。

加えて、我が国の質の高い物流システムや港湾インフラシステムの新興国などへの展開や、物流における地球温暖化対策等の推進も求められます。

本寄附講座では、このような状況を踏まえて、ICT の進展に対応したグローバルロジスティクス及び港湾インフラ整備の高度化に関する研究を行っています。



港湾手続き等における ICT の活用による物流の高度化



ICT 活用による港湾インフラ整備のさらなる高度化・効率化

港湾物流高度化寄附講座



京都大学

設置期間 2020年7月1日～2023年6月30日

寄附者 一般財団法人港湾空港総合技術センター/一般財団法人沿岸技術研究センター/一般財団法人みなと総合研究財団

 「ICTの進展に対応したグローバルロジスティクス
及び港湾インフラ整備の高度化に関する研究」


教員紹介



山田忠史 教授

専門分野

ロジスティクス、交通計画

担当科目

 Transportation and Logistics Management
プロジェクト・オペレーションマネジメントワークショップ
/ International Project Management Workshop

Message

貨物輸送、サプライチェーンマネジメント、マルチモーダル交通、観光などを対象に、交通渋滞・交通事故・環境負荷などの社会問題を考慮しながら、実際の事例や計画、あるいは、理論的解析を通じて、交通サービスのあり方や交通ネットワークの設計について考究します。



小林潔司 特任教授

専門分野

計画・マネジメント論

Message

高度情報化・知識集約型社会における公共政策の策定・運用・管理のあり方について、経済学的・工学的知識に基づいて考えていきましょう。政策評価やゲーム理論の考え方や手法について、実際のケーススタディを例にとりあげながら研究を進めていきます。



宮島正悟 特定教授

専門分野

ロジスティクス、港湾施設

Message

サプライチェーンのグローバル化、ICT の進展など国際物流を取り巻く環境が大きく変化する状況下で、港湾物流やそれを支える港湾施設整備をさらに効率的、戦略的に進めるための研究に、様々な角度から取り組みたいと思います。



通山 絵美 寄附講座教員

専門分野

アジア地域研究、国際協力、言語学

Message

港湾・物流分野の海外連携をテーマに、特に日・ASEAN 地域における持続可能な物流システムのあり方について、各国の地域背景や社会課題を踏まえながら研究を進めていきます。



小野憲司 客員教授

専門分野

災害時物流、事業継続マネジメント、港湾物流システム

Message

災害に対する地域社会と経済のレジリエンスは、災害発生時の人的被害を最小化するとともに、災害後のいち早い経済活動の復興を可能とする物流がその一端を担っています。そのような物流システムの構築と運用に向けた平時からの備えの在り方の明確化とそのための科学的アプローチの発展に寄与したいと考えています。



宮田正史 客員教授

専門分野

港湾工学、信頼性設計、技術基準

Message

港湾インフラの整備と維持管理の高度化・効率化に向けて、海外の事例・動向も参考としつつ、全体最適の視点と ICT 導入により、国内における既存の業務プロセスに対する改善方向性について、研究を進めたいと考えています。



飯田純也 客員准教授

専門分野

港湾物流、データ連携技術

Message

国際貨物輸送においては多岐に渡る民間企業・行政機関が関わっています。これらステークホルダー間のスムーズな情報伝達による効率的かつ安全・安心な貨物輸送に向け、情報技術の適用や標準化に関する研究に取り組みます。



河合美宏 特命教授

専門分野

国際マネジメント、金融、公共政策
グローバルリーダーシップ

Message

民間企業、日本政府、外国政府、国際機関の経験、特に金融関係の国際機関のスタートアップから事務局長として経営に携わってきた 20 年の実務経験から培った知識、知見に基づく国際マネジメント、金融リスク管理、政策立案、意思決定、リーダーシップ等についての講義、研究を通じ、世界で活躍を目指す学生、受講者の助けになりたい。



渡部富博 特命教授

専門分野

港湾物流、港湾計画、ロジスティクス

Message

経済のグローバル化や情報化の進展など国際物流を取り巻く輸送環境が大きく変化するなか、港湾物流をさらに効率的、戦略的に進めるための研究を、理論と実務の両面から進めたいと思います。